

東京芸術劇場「障害とパフォーマンス・アーツ」レクチャー
Ping Chong's ドキュメンタリー・シアター

『生きづらさを抱える人たちの物語』

「障害」や「生きづらさ」と向き合う人々との作品創造

ニューヨークを拠点に活躍する演出家ピン・チョン作・演出『生きづらさを抱える人たちの物語』が、1月18日～20日に東京芸術劇場シアターイーストで上演されます。社会でさまざまな「障害」や「生きづらさ」を抱える人たちのインタビューから演劇的に再構築した、ピン・チョンによる“Undesirable Elements”シリーズの最新作です。ドキュメンタリー・シアターの手法をとおしてピン・チョンが社会に提示するものについて、また、オーディションで選ばれた、それぞれに「生きづらさ」と向き合う出演者との作品創造のプロセスについて、話を聞きます。(日英逐次通訳および手話通訳つき)

日 時： 2019年1月14日(月・祝) 14:00-16:00
会 場： 東京芸術劇場 リハーサルルームL (地下2階)
料 金： 500円 『生きづらさを抱える人たちの物語』の公演チケットをお持ちの方は
無料(当日、受付にてチケットをご提示ください)
定 員： 50名 先着順 ※ 要事前申込み

Ping Chong(ピン・チョン) 演出家、振付家、映像アーティスト、Ping Chong + Company 創設者。演劇にメディアを取り入れたパイオニア的存在の国際的アーティスト。1972年以来、国内外で100を超える作品を制作する。アメリカ最高位の芸術賞・National Medal of Arts (国家芸術勲章)のほか、BESSIE賞(ニューヨーク・ダンスパフォーマンス賞)、OBIE賞(オフ・ブロードウェイ演劇賞)を受賞。



写真：富田了平

鈴木 京子 国際障害者交流センター ビッグ・アイ プロデューサー(副館長) UEJ「生きづらさを抱える人たちの物語」プロデューサー。2001年より、国際障害者交流センタービッグ・アイの事業企画、制作に関わる。誰もが参加できる舞台や展覧会などの企画、制作、運営や障害のあるアーティストの支援活動にも取り組んでいる。厚生労働省・文化庁：障害者文化芸術活動推進有識者会議委員/文化庁：文化政策部会委員ほか。



【モデレーター】 **鴻 英良** (演劇批評家)

お申込みはEメールで seminar@geigeki.jp まで

件名を「ピンチョンレクチャー参加希望」として、下記を明記の上、お申込み下さい。
①氏名(ふりがな) ②ご所属(もしあれば) ③公演チケットの有無 ④メールアドレス
⑤当日連絡用電話番号

※こちらからの返信をもってご予約完了となります。

※手話通訳ご希望の場合は、1月7日までに申込みください。

※お申込み時にいただく個人情報、本講座以外の目的には使用しません。

※受信制限をされている方は、当アドレスからのメールを受信できるよう設定をお願いします。

【お問合せ】 東京芸術劇場 事業企画課 教育普及担当 03-5391-2116 <http://www.geigeki.jp>

主催 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成 平成30年度文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

文化庁 独立行政法人日本芸術文化振興会

協力 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

Tokyo Tokyo
FESTIVAL